

県内の情報連絡員報告 令和7年4月

石川県中小企業団体中央会

総括

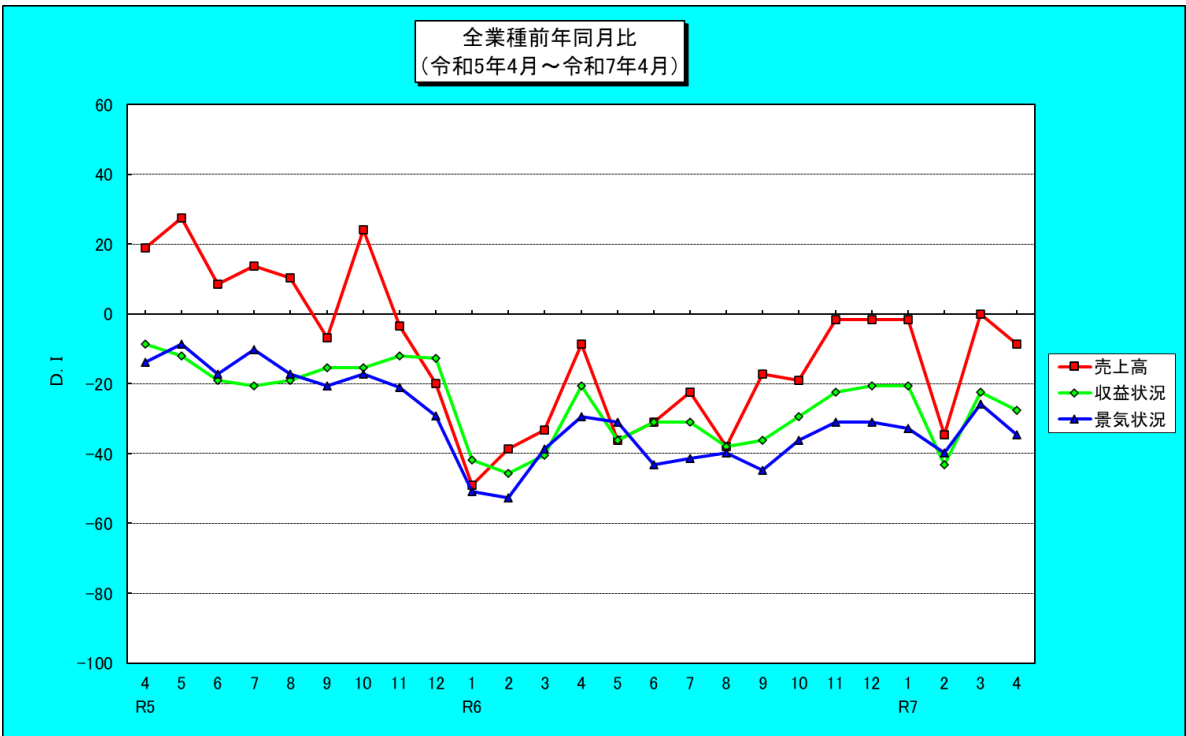
DI値で見ると、昨年同月比をもとに前月との増減を比べた場合、9項目中、1項目が上昇、2項目が横ばい、6項目が悪化となった。**全業種**においても、物価高・原材料費等の高騰が影響しており、価格転嫁の難しさや収益性の低下が問題となっている。また米国の関税政策など海外要因による今後の影響が懸念される。多くの業種で人手不足と後継者問題が深刻化している。**製造業**では、9項目中、1項目が上昇、8項目が悪化となった。原材料費やエネルギーコストなどの高騰が収益を圧迫している。また米国の関税政策に対する警戒心が強い。**悪化していた業種**は、物価高により一般消費者向け商品の売上が減少した**調味料製造業**や、米国の関税政策も影響し、売上・収益ともに低調である**燃糸等製造業**、全体的に低調でトランプ関税による今後の影響を不安視している**一般機械製造業**などが挙げられる。一方、**好調であった業種**は、天候に恵まれ入荷も順調にすすみ、安定供給が出来ている**木材製造業**などであった。**非製造業**では、8項目中5項目が上昇、3項目が悪化となった。インバウンド需要は堅調であるものの、地元住民の消費意欲は低調となっている。物価高や価格転嫁、人手不足の問題は深刻化している。**悪化していた業種**には、物価高騰が影響し、消費が低迷している**土産小売業**、オーバーツーリズム状態に近づき、地元消費者の足が遠のいている**商店街**、米国の関税措置と消費低迷から売上が減少した**運輸業**などがある。一方、**好調であった業種**は、観桜期を迎えインバウンド観光客の増加があった**旅館**、**ホテル業**、能登復興需要による受注が増加している**板金工事業**などであった。

前月比のDI値

項目	全体DI	製造業DI	非製造業DI
売上高	-8.6 (▼ 8.6)	-19.4 (▼19.4)	3.7 (3.7)
在庫数量	-17.0 (0.0)	-16.1 (▼ 3.2)	-18.8 (6.2)
販売価格	34.5 (▼ 8.6)	32.3 (▼ 9.6)	37.0 (▼ 7.4)
取引条件	1.7 (0.0)	-3.2 (▼ 3.2)	7.4 (3.7)
収益状況	-27.6 (▼ 5.2)	-41.9 (▼16.1)	-11.1 (7.4)
資金繰り	-17.2 (▼ 6.9)	-22.6 (▼ 9.7)	-11.1 (▼ 3.7)
設備操業度	-19.4 (12.9)	-19.4 (12.9)	—
雇用人員	-17.2 (▼ 5.1)	-25.8 (▼12.9)	-7.4 (3.7)
業界の景況	-34.5 (▼ 8.6)	-41.9 (▼ 9.6)	-25.9 (▼ 7.4)

※1：() 内の数字は前月とのポイント差 (▼は減少) ※2：設備操業度は製造業のみ

全業種の前年同月比推移



<製造業>

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
食料品	調味材料製造業	4月の出荷は1割減少と低調であった。業務用は堅調に推移したものの、市販商品は2割以上減少した。4月からの相次ぐ価格改定が、食品業界を含む幅広い分野で消費に影響を及ぼしていると考えられる。組合員の値上げもそれぞれであり、収益改善はなかなか難しい。
	パン・菓子製造業	能登地区の営業再開店舗は、前年度比で売上は伸びているものの、物価高などが影響し収益面の改善は見られない。まだまだ状況が好転する気配は見られず、見通しは不透明である。
繊維工業	織物業	合繊織物についてはコロナ移行前から一時的に回復傾向にあったものの、全体的に受注が減少しており、厳しい状況にある。和装業界については一般消費はインバウンドの回復などを背景に復調傾向にあるが、人手不足や後継者問題、織機の老朽化等の危機的状況となっている。
	織物業	対前年同月比で絹織物は17%減少、合繊は19%増加し、全体で19%増加した。全体で増加しているものの状況としては厳しい。
	織物業	織物生産高は3ヶ月連続で前年比増加となった。品種別では、ナイロンは前年比19.5ポイントの増加、ポリエステルは4.9ポイントの減少となり、織物全体としては2.7ポイントの増加となっている。
	その他の織物業 (染色加工)	前年比で売上は30%程度減少している。受注も減少傾向にあり、操業度も低下している。原材料に関しても、価格は上がり続けている。また個人消費の意欲も低いまま推移している。
	ねん糸等製造業	欧州・中国の影響に加えて、米国の関税政策が影響しそうである。売上高、収益状況共に良くない状況が続いている。
木材・木製品	製材業、木製品製造業 (加賀方面)	売上は前年同月比で7%程度減少している。プレカット工場での稼働率を見ると、前年同月比及び前月比で増加している。見積もりの件数も増加しているものの、欧州産集成材等の値上げにより仕入れコストが上昇している。価格転嫁も難航しており、採算性も悪化している。国産材も値上がり傾向にあり、品不足気味になってきている。
	製材業、木製品製造業 (能登方面)	4月の取扱量は1,438 m ³ 、売上高は25,135,192円で平均単価が17,482円であった。暖かい気候に恵まれ、入荷も順調で安定供給が実現できている。最近是小径木の引き合いが増し、若干であるが価格が上昇している。増加の要因は復興資材で丸太の杭として利用されていることである。
	製材業、木製品製造業 (金沢方面)	4月は決算直後ということもあい、売上は先月と比べると減少した。前年同月比でもマイナスになっている。例年であれば、ゴールデンウィーク前の駆け込み需要が多少あるが、今年は稼働率にあまり影響はなかった。
印刷	印刷業	4月に入っても印刷需要の回復があまり感じられない。売上・収益共に今後厳しい状況が予想されている。印刷需要が減少している中で、用紙を始めとした各種印刷資材の値上げも予想されており、益々経営環境が厳しくなると思われる。今後、印刷業界は従来の受注形態や販売商品について大きな軌道修正が求められると考えている。

窯業・土石製品	砕石製造業	4月の出荷量は対前年同月比、生コン向け出荷は4.5%増加、合材用アスファルト向け出荷は51.1%増加し、全出荷量では11.8%の増加となった。4月より骨材が400円/t、合材用川砂については460円/tの値上げをした。
	陶磁器・同関連製品製造業	景気は横ばいである。例年であれば売上など上昇していく時期であるが、それがみられない。
	生コンクリート製造業	4月の生コン出荷量は前年同月比で116.3%であった。各地区の状況について、前年同月比でプラスの出荷となったのは金沢地区が109.8%、羽咋鹿島地区が134.4%、七尾地区が133.6%で能登が173.9%であった。プラスとなった要因は能登地区の3地区については能登半島地震震災復興に関する出荷である。一方で、マイナスの出荷となったのは南加賀地区が97.0%で鶴来白峰地区が52.7%であった。なお、官公需・民需の前年同月比は官公需100.8%、民需118.0%の状態である。
	砕石製造業	組合としての受注実績がなく、業況は非常に厳しかった。
鉄鋼・金属	一般機械器具製造業	為替の変動と原油の供給過剰、政府の補助金施策などにより、エネルギー価格の落ち着きが期待される一方、原材料や物価の高騰、賃金の引き上げや人材不足に関して、抜本的な景気浮揚策が見受けられない。米国の関税政策の影響については、既に鉄鋼の追加関税による影響が一部出ている。現時点の影響は限定的であるが、今後の関税措置と日本政府の交渉を注視している。一部では、中国の電気自動車が好調で受注が伸びている事業所もある。
	非鉄金属・同合金圧延業	外国人観光客が多く、箔貼り体験に人気が集中しており、土産品の売上には繋がっていない。原材料の金地金の高騰が続いており、厳しい状況が長期にわたっている。
	鉄素形材製造業	4月の売上は対前月比で1.0%増加、対前年同月比で34%減少であった。トランプ関税に対する動向を注視している状況。
	鉄素形材製造業	建機業界は在庫調整も整い、生産は順調に推移している。ただし、労働人口の減少、物価高や最低賃金の上昇等で中小企業の経営環境は厳しさが増している。またトランプ関税の影響は今のところ出ていない。ただし、米中貿易戦争の長期化、為替が円高に進めば、景気が急速に減速する危機を懸念している。
	一般機械器具製造業	大手建設機械メーカーは一昨年下半年から需要減少が長期化しており、組合員企業においても減産が続いている。全体としては、依然として原材料やエネルギー価格の高騰が続き、さらには人材確保のための賃上げ、借入金利の上昇、受注の減少やトランプ米政権による高関税政策等に伴う経営への影響が懸念されている。
	一般産業用機械・装置製造業	売上は減少傾向にあり、原材料等の高騰も影響し収益状況は厳しい。人手不足による工期の長期化や原材料の高騰も影響し、今後も低調に推移すると思われる。
一般機器	機械、機械器具の製造又は加工修理	全体的な傾向として売上の落ち込みがみられる。今後は米国の関税政策の影響も懸念されるが、それ以前に中国経済の悪化による需要の落ち込みが影響し売上が低迷している。また人件費の上昇などのコスト増加が経営を圧迫している。
	機械金属、機械器具の製造	特に懸念材料はなく、景況は安定した状況が続いている。
	繊維機械製造業	繊維機械関連の受注状況は発注先企業の注文残が上積みされており、順調な受注環境にあるといえる。組合員企業への生産量増加対応・納期遵守・品質維持の要求が更に厳しくなっているのも現状である。工作機械・一般機械関連についても総じて短納期対応の要求が出ている。素材調達も含めた前工程・後行程等のストレスのないモノの流れを管理することも

		以前にもまして重要になってきている。今後アメリカの関税措置が工作機械需要及び関連業態にも影響を及ぼす可能性があり、動向を注視する必要がある。
	機械金属、機械器具の製造	繊維機械関係は一定の生産量が予定されており比較的安定している。建設機械関係は回復傾向がみられるが、工作機械関係や自動車部品関係は低調な状況である。原材料費の高騰により利益が圧迫され、コストダウンや短納期への対応が重要になっている。トランプ政権の高関税報道により、今後の市況への影響が懸念される。
	機械器具及び其の他金属製品の製造	前月比では売上が増加している。従業員数は増加しているものの、依然として人手不足の状況である。トランプ関税の今後の影響に注視していきたい。
	機械金属、機械器具の製造	大手建設機械メーカーは、トランプ政権による高関税政策で建機や部品を米国に輸入する際のコスト増加が予想している。また貿易摩擦による景気後退が影響し、建設機械・車両、産業機械の需要減少による利益押し下げが見込まれるとしており、組合内でも利益の押し下げを懸念している。今後、米国の関税政策の影響が懸念され、その対応が求められる。人手不足は未だ深刻で、解消に向けた努力は続いているものの、技術者や職人が高齢化し、後継者の確保が難しいという問題が継続している。
	機械金属、機械器具の製造又は加工修理	売上は前年同月が低かったこともあり、若干のプラスとなる見込みである。組合の主要取引先はトランプ関税のコストは価格転嫁せず、当面据え置きし、状況に応じて対応していくとのことであった。部品供給側の組合員企業は状況を見極めながら、生産対応していくしかない。
その他の製造業	漆器製造業（能登方面）	県外での展示販売会において、震災支援の雰囲気はほぼなくなったようで需要の掘り起こしが課題となっている。まだまだ生産活動はもとに戻らない状況であるが、生産再開する職人も増えているので期待したい。また市内の飲食店などの営業再開も少しずつ進んでいるが、今後の需要がどれくらい見込めるか不透明な状況である。
	プラスチック製品製造業	売上は依然として低調に推移しており、対前年比ではマイナスになっている。4月末はGWでラインが止まることもあり受注の勢いが出ていない。材料費の上昇により、収益は圧迫されている。トランプ関税は経済の悪化要因として捉えられているため、内需も低下し、物価高騰が家計を圧迫し、可処分所得の低下を実感している。

<非製造業>

集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等
卸売業	その他の卸売業	4月の売上は年々増加傾向にあり、大きな売上が達成することができた。大きな要因として、中国をはじめとする海外需要があったことと、生産が可能な範囲で受注するようになったことがあげられる。
	一般機械器具卸売業	住宅市場は依然として回復には至っておらず、非住宅市場に関しても民間設備投資が落ち着いている。そのため、売上・収益共に前年を僅かながら下回っている。
	水産物卸売業	売上高は能登半島地震直後の昨年より微増したが、収益状況等についてはほとんど変わっていない。
	各種商品卸売業	全体としては順調に動いている。新たな設備投資として土地を購入予定の事業所も複数存在する。

小売業	燃料小売業	仕入価格の増加分を価格転嫁したため、平均価格は上昇したが、販売量は昨対で減少した。収益状況や資金繰りは悪化している。5月22日から燃料油価格激変緩和対策事業が終了し、燃料油価格定額引下げ措置に移行するが、原油価格動向によっては消費者の負担が増加する可能性がある。また人手不足が影響し、燃料配送を含めた顧客ニーズに対応することが難しくなっている。
	男子服小売業 婦人・子供服小売業	先月に引き続き寒暖差が影響し、低調に推移した。気温が上昇した4月後半からようやく春物、初夏物が動いた。気温を見越して初夏・夏物を陳列し、品揃えを訴求したが、低気温で空振りに終わった。その一方で実気温に即した商品のみが動いた。
	鮮魚小売業	4月は魚の水揚げが少なかった。昨今の物価高が影響し、魚介類の価格も上昇しており、消費者価格も昨年比で3割ほど増加しているようである。インバウンドで観光客が多く、観光客向けの店舗は好調だったものの、物価高の影響で地元消費者の購買意欲は低下しており、二極化の様相を呈している。
	百貨店・総合スーパー	売上昨年対比 89.98%であり、客数昨年対比 89.62%であった。また部門別ではファッション 85.99%、服飾・生活雑貨 94.03%、食品 94.69%、飲食 87.72%及びサービス 89.85%であった。北陸新幹線敦賀延伸から1年が経ち、引き続き観光客の姿は多く見られる。観光客だけではなく、地元客にも親しみを持ってもらえるよう、地元の学校等と連携した企画を行えるよう進めていく。
	茶類小売業	今年は桜が長引き、観光部門は好調であったこともあり、4月は例年よりも注文が増えた。抹茶の需要と供給のバランスが崩れ、お米と似たような動きになってきているが、棒茶には大した影響がない。毎年この季節には新茶の販売が話題にあがるが、石川県では新茶を飲む習慣がないため、全国的には販売が少ない地域である。
商店街	近江町商店街	物価高による購買意欲の低下がみられており、収益が減少している。国内旅行需要を取り込めておらず、売上に結びつかない状況が続いている。インバウンドは好調であるが、オーバーツーリズムの状態に近づいており、地元消費者が商店街に寄り付かない状況である。昨年度は石川応援割など観光施策があったため、国内旅行需要はあったが、今年は一切なく、また物価高の影響もあり、昨年同月と比べ減収減益となった。
	白山市商店街	売上は横ばい、収益は落ちていると思われる。要因は原材料価格の高騰、原油・電気代の高騰である。特に飲食店の材料費高騰は深刻なようである。
	片町商店街	4月前半は外国人観光客の来街が多く、順調であった。しかし、一般消費者においては生活必需品価格が高騰し、財布の紐が固くなっている様子が伺える。またトランプ関税などの影響もあり、消費意欲が減退する話題が多すぎるように感じる。
	竪町商店街	4月前半は春らしい陽気で売上も順調であったが、中旬から寒い日や雨の影響で盛り上がりには欠けた月であった。タテマチのアパレルや古着店は値上げとはあまり関係はなかったが、消費者の購買意欲は鈍かったように感じられた。
サービス業	旅館、ホテル（金沢方面）	観桜期をむかえ、インバウンド客を中心に観光客が多い。ホテルでは、客室稼働率が70～90%程度と高く、旅館においても70～95%と高い水準である。街中や駅周辺でも外国人をよくみかけるようになった。
	旅館、ホテル（加賀方面）	旅行に関するキャンペーンで昨年は好調であったが、今年は個人消費が低迷している。その影響で宿泊単価も増えておらず、一部では下振れの状況も伺える。

		全体の宿泊実績は対前年比約 63.1%と昨年より大きく減少した。昨年は北陸応援割が 4 月に実施され、宿泊者数が大幅に増加したことの反動が大きかった。コロナ前の令和元年 4 月に比べても 75.2%と減少しており、いまだ回復の兆しが見られない。欧州方面からのインバウンド客は増加傾向にあるが、関西方面からの国内客は減っている。物価高騰の影響もあり、観光需要の高まりは感じられなかった。
	旅館・ホテル (能登方面)	対前年比で入込客数 123%、売上 228%であった。大型旅館 (TAOYA) のリブランドオープンにより一般観光客が増加した。
	自動車整備業	車検需要は 35,971 台 (対前年比 105.6%) と登録車 (対前年比 104.3%)、軽自動車 (107.8%) とともに前年を上回り、年度後半は前年を上回ることを想定している。一方、新車販売台数は 3,725 台 (対前年同月比 114.9%) と 4 ヶ月連続で上回っており、年明け以降は新車の供給が安定化したと思われるものの、一昨年の水準には届かなかった。
建設業	板金・金物工事業	能登では復興に向けた需要が増加してきており、それらを受注している業者が忙しい。加賀地区では物件数は少ないように思われるが、冬の工期遅れをカバーしようと忙しい様子である。そのため、売上・収益共に増加してきている。
	管工事業	4 月度における受付件数は前年同期比で、給水装置工事は 23%減少し、収益は 11%減少となった。
	一般土木建築 工事業	民間元請・下請受注高は対前年同月比で土木工事業部門元請 132%、下請 46%、建築工事業部門は元請 85%、下請 26%台となった。他方、官公庁受注高は対前年同月比で土木工事は元請 182%、下請は 119%だが、建築工事元請は 207%であった。土木は民間、官公庁工事ともに発注増加が続き、建築は民間工事が平年並み、官公庁の発注が増加傾向にある。
	一般土木建築 工事業	能登半島地震の影響で金沢市内の下水道災害復旧工事が始まったため、工事受注高は増加傾向にある。
運輸業	一般貨物自動車 運送業①	4 月は米国のトランプ大統領の関税の影響と消費低迷から前年同月比で売上 10%の減少。燃料価格は政府からの補助金が減額したため、燃料コストが 3%上昇した。これらが影響し収益が減少している。
	一般貨物自動車 運送業②	輸送実績は対前年比で 8%減少し、対前月比で 2%増加した。組合間取引は対前年比で 27.4%減少したが、荷動きは安定していると思われる。